

蝶々夫人



ジャコモ・プッチーニ
(1858~1924年)



三澤 洋史



栗山 民也

MUSIC BY GIACOMO PUCCINI LIBRETTO BY LUIGI ILlica / GIUSEPPE GIACOSA

企画: 若杉 弘

指揮: 三澤 洋史

美術: 島 次郎

照明: 勝柴 次朗

舞台監督: 大澤 裕

演出: 栗山 民也

衣裳: 前田 文子

再演演出: 江尻 裕彦

(15日)

(16日)



蝶々夫人 小濱 妙美



並河 寿美



ピンカートン 水口 聡



成田 勝美



シャープレス 折江 忠道



星野 淳



スズキ 大林 智子



三輪 陽子



ゴロー 松浦 健



大野 光彦



ボンゾ 島村 武男 (両日)



神官 黒田 諭 (両日)



ヤマドリ 小林 由樹 (両日)



ケート 佐々木 昌子 (両日)

合唱: 新国立劇場合唱団

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

会場: アルカイックホール

愛を信じ、愛ゆえに死を選んだ蝶々さん

新国立劇場では、高校生のみなさんに

オペラの素晴らしさをお伝えするため、毎年オペラ鑑賞教室を開催しています。

2回目となる今年の関西公演では、

昨年に引き続きプッチーニの不朽の名作「蝶々夫人」を上演いたします。

明治の長崎を舞台に、海軍士官ピンカートンの帰りを待ち続ける

蝶々さんの美しくも悲しい物語は、オペラ十八番というにふさわしい名作として、日本人に最も愛されているオペラ作品です。

ぜひこの機会に、オペラデビューを飾ってください。

